

補助事業を活用してご購入いただいたお客様へ

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

重要

平成30年度「トラック・船舶等の運輸部門における省エネルギー対策事業費補助金（ハイブリッド車等の点検整備の高度化による省エネ推進事業）」では、実施状況報告の際、診断データを標準形式（Excel・CSV・テキストまたはPDF形式）で提出する必要があります。

G-scan2では、本ソフトを使用することにより、CSV・テキスト・PDF形式にて診断データ作成が可能となります。

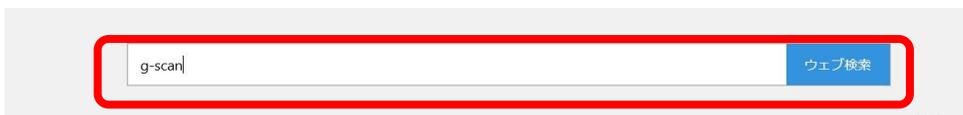
※PDF形式はWindows10のみ対応

G-SCAN 2 診断データ作成手順書

目次

- 1.PC用専用ソフト(診断データ作成ソフト)のインストール
- 2.車両診断・診断結果データの保存
- 3.診断データファイルの作成
- 4.診断データファイルの出力
- 5.お問い合わせ先

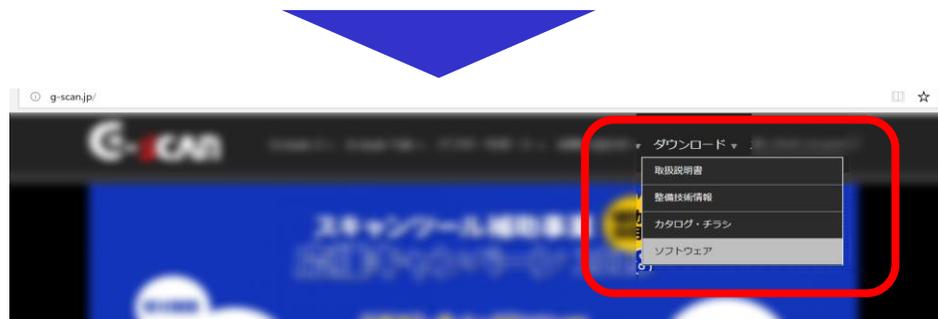
1.PC専用ソフト（診断データ作成ソフト）のインストール



PCのインターネット検索で検索ワード「g-scan」を入力→検索をします



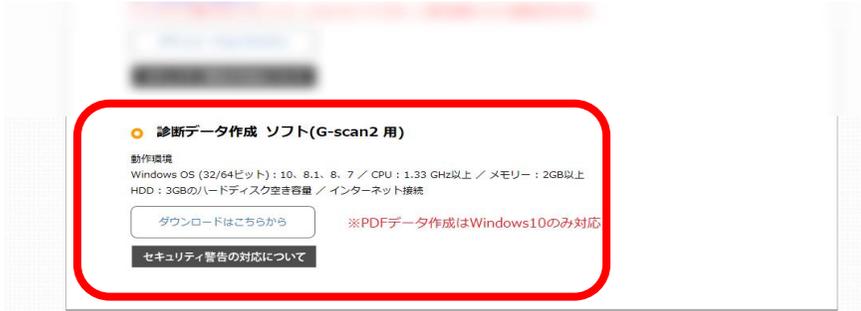
G-scan | 高機能スキャンツールジースキャンを選択します



「ダウンロード」タブの「ソフトウェア」を選択します

次へ

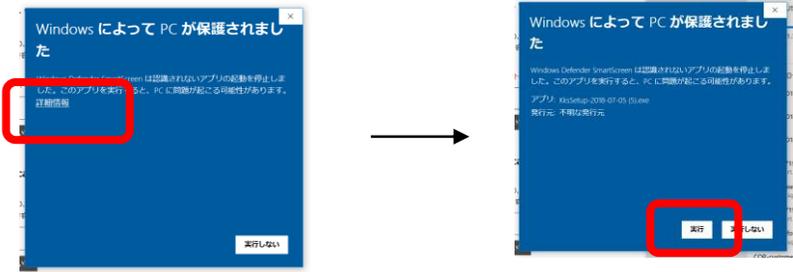
1.PC専用ソフト（診断データ作成ソフト）のインストール



「診断データ作成ソフト」のダウンロードはこちらからを選択します



実行を選択し、ダウンロード、インストールを行います



※Windowsのバージョン、PCの設定等によって←のメッセージが表示される場合があります。その際は、詳細情報→実行を選択します

インストール完了

デスクトップに「診断データ作成ソフト」のアイコンが作成されます



2.車両診断・診断結果の保存



G-scan2を起動し、中央の「車両診断」を選択

- ・メーカー
- ・車種
- ・型式
- ・原動機
- ・登録年式を選択します



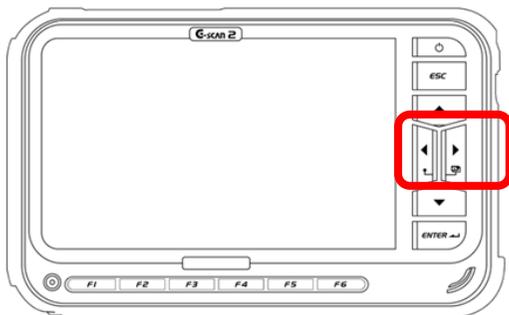
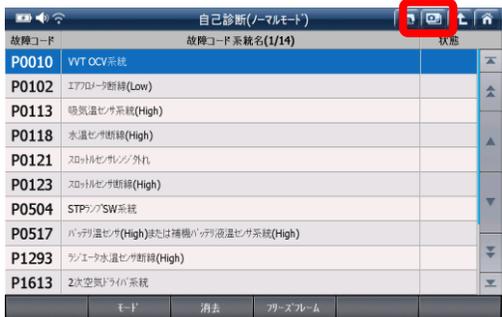
システムサーチを選択すると、診断可能なシステム一覧とそれぞれのシステムに故障コード（DTC）が何個あるが表示されます



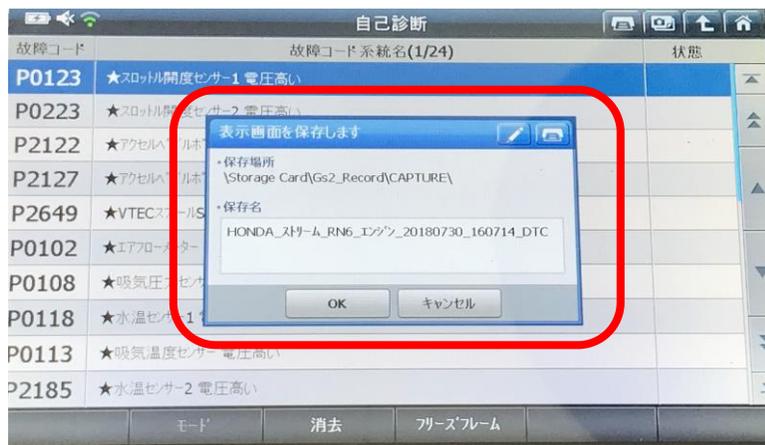
診断したいシステム（エンジン・AT/CVT・ABSなど）を選択し、「自己診断」を選択すると、故障コード/故障コード系統名が一覧で表示されます

※故障コード（DTC）がない場合「故障コードなし」と表示されます

2.車両診断・診断結果の保存



故障コード/故障コード系統名が表示されている状態で、画面右上のカメラのアイコンまたは、本体の左右カーソルキーを同時押しすることで、診断結果の保存が行えます



保存確認のポップアップが表示されますので、OKを選択し、保存を行います

保存ファイルは「メーカー_車種_型式_システム_日付_時間_DTC」の名前で保存されます



診断データの保存完了

データは、本体に内蔵しているSDカード内に保存されます

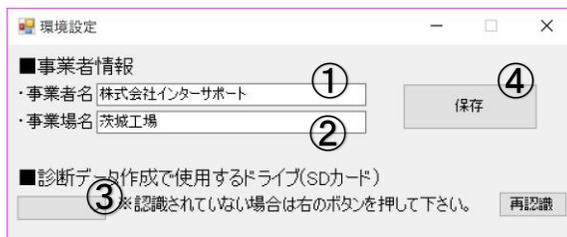
3.診断データファイルの作成



G-scan 2 本体よりSDカードを抜き、付属のSDカードリーダーでP Cに接続します



診断データ作成ソフトを開き、診断データ作成を選択します

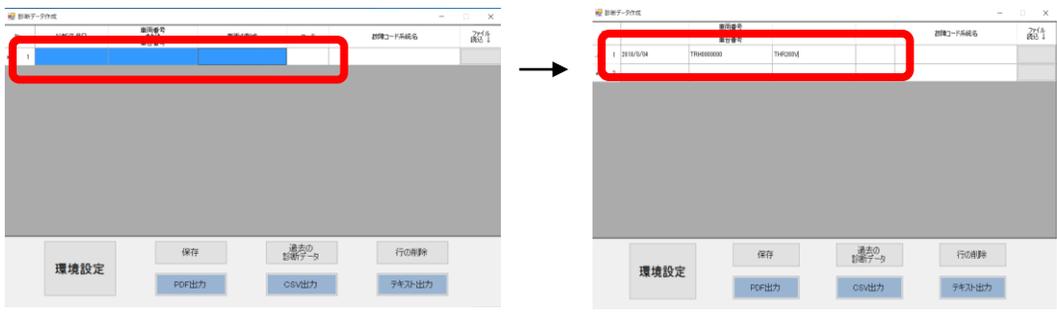


環境設定を選択し、必要事項の入力・選択を行い保存します

- ① 補助事業申請時の事業者名（会社名）
- ② 補助事業申請時の事業場名（工場名等）
- ③ SDカードリーダーを接続しているドライブ
- ④ 保存

次へ

3. 診断データファイルの作成

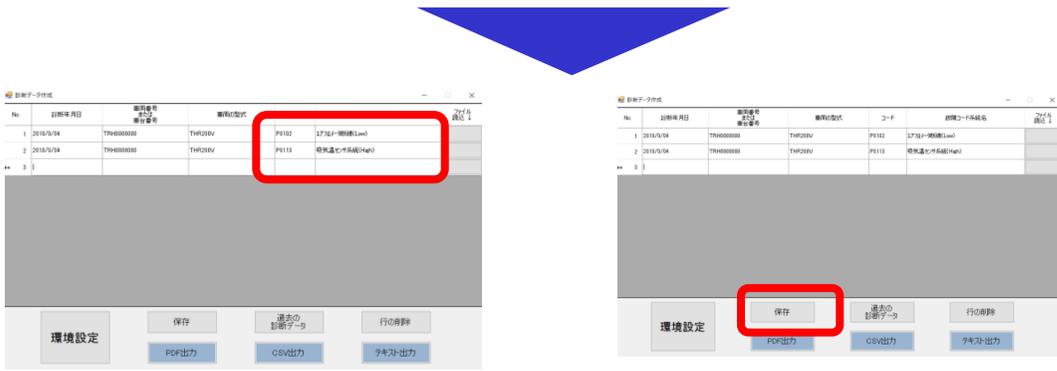


診断年月日/車両番号または車体番号/車両型式
をそれぞれ入力します
※入力必須項目です。



「ファイル読込」を選択し、ポップアップ画面の
保存ファイル一覧から、ファイル名の「型式_日付」
を確認し、該当車両のファイルを選択します

※注意
ファイル名の「型式_日付」を確認！
保存データが複数ある場合は、選択間違いに注意！



診断データが反映されていることを確認し
保存を行います

次へ

3.診断データファイルの作成



診断データを追加する場合、「過去の診断データ」を選択し、ポップアップ画面からファイル選択を行います



同様に診断データファイルの追加を行い、規定数（15日以上または車両20台以上）のデータを作成します

診断データファイル作成完了

<補足>

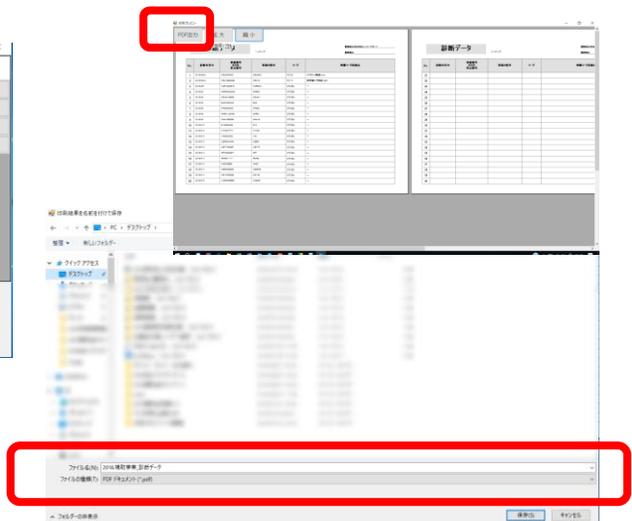


DTCコードがない車両の場合「DTCなし」と表示されます
DTCコードがない場合でも、実施件数としてカウントされます

※診断データは「15日以上または車両20台以上を検証し、かつ1件以上のDTCが検出されていること」となっています

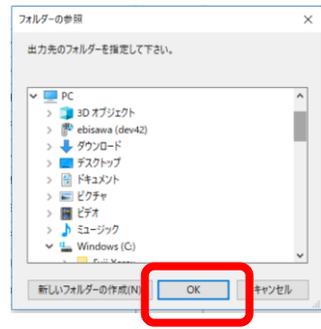
提出用の診断データファイルは、PDF・CSV・テキスト形式で出力可能です

(PDF形式) ※Windows10のみ対応



PDF出力を選択し、印刷プレビューのPDF出力を選択し、保存ファイル名、保存先（デスクトップなど）を入力、選択し、保存を行います

(CSVまたはテキスト形式)



CSV出力またはテキスト出力を選択し、任意で保存先を選択し、保存を行います

ファイルは「診断データ_00年00月00日_00時00分00秒」のファイル名で自動入力されます

診断データファイル出力完了



補助事業URL:

(<http://pacific-hojo.jp/30scan/index.html>)

■診断データファイル提出方法・提出先等の補助事業全般についてのお問い合わせ

パシフィックコンサルタンツ株式会社 『陸上輸送省エネ推進事業事務局』

- ・メールアドレス : scan_hojokin@30.pacific-hojo.jp
- ・電話 : 03-5280-9501
- ・ファクシミリ : 03-5280-9502
- ・受付時間 : 平日9時～17時（12時～13時は除く） ※休業日／土曜・日曜・祝日・年末年始

■車両の診断方法・診断データファイル作成方法などについてのお問い合わせ

株式会社インターサポート 製品保守センター

- ・電話 : 0570-064-737→②
- ・メールアドレス : hoshu@inter-support.jp
- ・受付時間 : 平日10時～17時 ※休業日／土曜・日曜・祝日・年末年始・8/13～8/15